



雪の季節 ❄️ 路面凍結にご注意!!

今年も体の芯から冷え込むような冬がやってきました。
九州は他方に比べて降雪が少なく暖かいかと思えます。しかし、積もりにくいからといって、スリップ等の事故が少ないわけではありません。寒さによる路面凍結が、事故発生へと繋がってしまいます。事故が起きやすい場所等を確認し事故を未然に防ぎましょう！

スリップ事故が起きやすい場所とは？

- (1) 日蔭で乾きにくい場所
- (2) 道端の積雪が凍結して解けにくくなっている場所
- (3) 橋梁や高架道路
- (4) カーブや坂道
- (5) 冷え込んだ日の夜間や早朝で路面が濡れたように黒くみえる場所

どんな時に注意が必要？

- (1) 降雪があったとき
- (2) 積雪が解けきれずに残っている夜間や早朝等
- (3) 日蔭等に残った雪が、日中に解け夜間凍結することを繰り返す数日
- (4) 降雨等により路面が濡れた状態のまま冷え込んだ夜間や早朝等

安全のためのポイントとは？

- (1) 過去にスリップ事故が起きている場所を確認しましょう。
- (2) 「急」のつく運転操作をしないでください。
(急加速、急ハンドル、急ブレーキ、急発進)
- (3) 車間距離は路面乾燥時の2倍以上確保しましょう。

⇒ハンドル操作による回避行動がとれず、ブレーキの制動機能が失われるため、走行速度のまま衝突することとなり大きな事故へ繋がります。

薄い氷の膜ができて黒く見える状態では、一見濡れた状態と勘違いしやすいので注意が必要です。

!! 通りなれた道でも油断大敵!!

